



碧南ロータリークラブ週報

第2775回例会 平成28年4月20日(水)

- 会長 山中 寛紀
- 幹事 新美 雅浩
- 会場監督(SAA) 杉浦 栄次

2015-2016 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 事務局 碧南商工会議所内
TEL<0566>41-1100
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 例会場 碧南商工会議所ホール
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
FAX<0566>48-1100



世界へのプレゼントになろう

- 会報委員 藤関孝典・杉浦秀延・八馬宜久

● 斉 唱

ロータリーソング「今日も楽し」

● 本日のお弁当

衣浦グランドホテル

会 長 挨 拶

先ほどは黙祷にご協力頂きましてありがとうございました。
約5年前ですけども、3月11日の東日本大震災をきっかけに世の中で想定外という言葉がよく出てくるようになりました。



山中寛紀会長

先日の14日の夜9時過ぎに起こりました熊本県を中心とした大きな地震というのは、まさに想定外という形で起こった地震なのかなと思っておりすけども、さらに2日後にマグニチュードの非常に大きな地震が起こり、これが本震であったということで、後で気象庁が発表しました。余震の数と規模があまりにも大きいということで、被災された皆様には心からお見舞い申し上げますと共に、尊い命を落とされた方々には心よりご冥福をお祈り申し上げます。

私たちロータリアンにとりましてのできる支援の仕方は各地によりまして色々と思っておりますけども、当然こういうことが起きますと地区の方から義捐金の協力要請がくるはずですので、その際にはよろしくお願ひしますというようなことで案内のお願ひを考へておりましたところ、2日前に早速、地区の方からメールで義捐金の協力要請がきました。これはあくまで義捐金でございますので、皆様の任意で協力して頂き、地区で集めて送りますという内容です。本来ですとこのようなことは理事会を通してやっていくことなのですが、今回は急なことでありますので、今週と来週の例会の時に皆様にお願ひをして集めさせて頂いたものを地区に送りたいと思っておりますので、よろしくお願ひ致します。

4月9日の土曜日に家族会がございました。久しぶりに遠出をさせて頂いて、静岡の北の丸という場所で美味しい食事をさせて頂きました。お酒に関しては私にはちょっとわかりませんが、美味しい料理とイチゴ狩りでの食べ放題とピークは過ぎておりましたけども色々な場所で咲き誇った桜を見ることができて、楽しい1日であったのではないかと感じております。

この24日の日曜日にはいよいよ次年度の動きということで、地区の研修会である地区協議会がございます。この時期になりますと次年度の役員の皆様たちが大変になってくると思いますし、私の肩の荷が少し下りかけてきたなと感じております。

今後2ヶ月の間に大きな災害が起こらぬことを念じている次第でございます。

本日の卓話で2人の新進気鋭のお話が聞けるということでございます。

本日の例会もどうかよろしくお願い致します。

幹 事 報 告

幹事報告させていただきます。

- 先回の理事会の報告等を幹事報告書に記載させて頂きましたので、お目をお通し頂きたいと思っております。
- 熊本地震に対する義捐金のお願いが地区の方から届いております。1人いくらという指定がございましたので、今回は災害義捐金のご予算を使わずに皆様からのアイサーブという形で義捐金を募りたいと思っております。今週と来週もお返しさせて頂きますので、ご協力を重ねてお願い申し上げます。



新美雅浩幹事

副 幹 事 報 告

副幹事報告させていただきます。

- 4月24日の日曜日の地区協議会の参加者の皆様にご案内申し上げます。10時45分に碧南商工会議所をバスで出発させて頂きますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。当日、3名の方が直接行かれるということですので、ホテルのエスカレーターを上がったところで資料等を配布したいと思います。よろしくお願い致します。また、5月18日と25日のクラブフォーラムで発表の場がございますので、ご承知の上よろしくご参加のほどお願い致します。



新美惣英副幹事

委員会報告

<出席奨励委員会>

総会員数 71 名 (内出席免除者 17 名の内出席者 11 名)出席者 55 名	
出席対象者 55/65 名	出席率 84.62%
欠席者 16 名(病欠者 0 名)	前々回修正出席率 100%

※六週連続出席率 100%の場合は記念品を差し上げます。

<ニコボックス委員会>

- 山中 寛紀君 } 4月9日例会を兼ねた春の家族会には、多数の会員の皆様にご参加頂き、
竹中 誠君 } 誠にありがとうございました。当日は春のポカポカ陽気に恵まれ、ゆるり
新美 雅浩君 } とした時間が流れ、和やかに進めることが出来ました。岡本委員長はじめ
親睦活動委員会の皆様のご設営に感謝申し上げます。
- 竹中 誠君 碧南 J C 創立 60 周年記念祝賀会に出席させて頂きました。楽しかったです。
- 鈴木 並生君 市制 68 周年式典で功労者表彰を受けました。
- 鈴木きよみ君 春の家族会、お世話になりました。嬉しい一時でした。
- 岡本 耕也君 春の家族会に参加して頂いた皆様には大変お世話になりありがとうございました。北の丸の食事とイチゴのお味には満足していただきましたでしょうか。
- 梶川 光宏君 私の履歴書をやらせて頂きます。よろしくお願ひします。
- 石川 綱逸君 弊社のシンボルである二本のエントツの内一本を解体しました。また、キャッチネットワークに取材を受け、放映して頂きました。
日曜日、ゴルフでうれしい事がありました。
本日、卓話をさせて頂きます。緊張してますが、精一杯頑張ります。

卓話

「私の履歴書」

会員 梶川光宏君

皆さん、改めましてこんにちは。親睦活動委員会の梶川でございます。極度の緊張をしておりますして食事ができなかったわりにはデザートの方はしっかりと頂きまして一生懸命頑張りたいと思います。どうかよろしくお願ひ致します。

先ほど、デザートを頂きましたという話をさせて頂きましたが、ごく最近の趣味はスイーツ探究ということをやっております。丁度先週の日曜日静岡の新静岡駅の隣のショッピング



梶川光宏君

グモールにチーズタルトの専門店ができましたので行って参りました。あとディズニーリゾート探究ということで、娘2人とのぎりぎりの共通の話題ということで頑張っております。

さて、本題に移りたいと思います。

昭和45年に碧南市若宮町で生まれました。丁度この年は日本万博が開催されたということでございます。それから地元の小・中・高を卒業しまして、平成元年に大分県にございます日本文理大学 工学部 建築学科に入学を致しました。家業が建設業をしているということで、実は私は幼い頃から建設業だけはやりたくないというふうに思っておりました。しかし、高校の折に嫌々ながら父に命ぜられ、会社の方でアルバイトをしておりましたが、その時にたまたま2つ上の先輩が入社して頂いておまして、碧南南中学の札付きの悪で廊下を自転車で走っている姿しか記憶にないくらいの先輩だったのですが、その先輩が15時の休憩の折に「お前頼むぞ。お前次第で俺たちの未来がかかっているのだぞ」というふうに真剣に言われて、その時にやっと腹を括ったという思い出がございます。

そんなこともありまして大学を卒業しまして安城にあります株式会社クサカさんの建築部に入社させて頂きました。3年8ヶ月ほど働かせて頂きまして梶川建設に入社しました。梶川建設に入ると愕然としました。何もかもができていなくてその時の行き当たりばったりのような会社でございました。

会社の歴史について少々話をさせて頂きたいと思います。始まりは明治38年に碧南市弥生町で梶川造船所を創業しました。梶川造船所というのは木造船を造っておりました。

それから伊勢湾台風が上陸する中で災害復興工事から本格的に建設業に参入したそうです。

それから高度経済成長に乗りまして、様々な土木建築から重量作業へとサービスを拡大して参りまして、平成10年には鋼矢板の圧入・引抜工事の全国サービスを開始致しました。

そんな最中、公共工事が悪の根源のような時代がございました。その折に極端に受注量が減った時期がございます。それが平成24年12月で梶川建設がなくなるのではないかと腹を括った時でございました。ここが私にとって生涯忘れることができない重要なキーポイントとなっております。そんなこともありまして会社の経営体質を大きく変えなければいけないということで、管理経営というものを金融機関の方から1から学ぶ機会を頂きまして必死になって頑張ってきました。3期連続赤字の後、何とか今年順調に行けば3期連続黒字にまで戻すことができ、やっと今ほっとできるかなというタイミングになりました。

まだまだ日々学ぶことばかりでございますが、やはり何よりも人間関係、そして人次第で会社の経営というものは良くも悪くもなるという経験を私は早い段階でさせて頂いたと思っております。これからも何事も真摯に受け止めて、精一杯全力で頑張っていきたいと思っております。

大変笑いの少ない話で恐縮でございましたが、以上で私の履歴書を終わらせて頂きたいと思っております。どうもありがとうございました。

会員 石川鋼逸君



石川鋼逸君

失礼致します。私は 29 歳で会社に入社をさせて頂き、その後ここにお見えになる先輩諸兄の皆さんに可愛がられここまでできました。その流れの 10 年くらいは皆さんと共に色々なことをさせて頂いておりますので、それ以前のお話をさせて頂きたいと思います。よろしくお願い致します。

1972 年に私は石川家の長男として生まれました。幼少期から石川家は母子家庭ということで父親はほとんど家におらず、私はおじいさん、おばあさん、そして母親に育てられました。特におじいさんが厳格で悪いことをすると怒られ、家の地下室に閉じ込められた記憶がたくさんあり、悪いことは絶対にしてはいけないということで幼少期を過ごしました。

父親は元中日ドラゴンズの木俣達彦さんと高校・大学の野球部の同級生ということで、そういった縁もあり必然的に私も幼少期から野球を始めることができました。なかなか家にいない父がたまにいる時にキャッチボールをさせて頂きました。年に数回しかない父親とのキャッチボールで褒めて頂くのが楽しくて日々練習をしておりました。

小学校の頃は地元の少年野球チームに入れさせて頂きまして、丁度同級生が 20 人いましてチームは弱かったですけども、監督・コーチの皆さんに恵まれて、練習・試合が終わると毎週日曜日には皆でご飯を食べに行くという恵まれた環境で楽しく野球をやらせて頂きました。

中学は地元の碧南南中学に入学をして野球部に入部させて頂きました。当時、まだ若い野球部の先生が非常に厳しく、休みはテスト週間と正月三が日だけでほぼ練習と試合に明け暮れておりました。そんな影響もありましてチームも強かったという記憶がございます。

そんな折に父親の母校であります中京大中京高校の野球部に私が入りたいと父親に話したところ、凄く喜んでくれまして、中学 3 年生の時に中京の試合がある度に父親と一緒に観に行った記憶がございます。高校は中京に行って野球をやって甲子園に行くということしか頭になくて、中京の入試を受け、運よく受かり中京で野球をやろうと思った時に母親に「県立高校も受けなさい」と言われ、地元の碧南高校も受験してこれも運がよく受かりました。私の気持ちの中では中京に行って甲子園に行こうということしかなかったのですが、ぎりぎりの段階で母親が私に半分泣きながら「朝早く始発の電車に乗ってお弁当を作る身になってください」と言われた時に父親と違って私は優しいので、確かにそうだなということで泣く泣く碧南高校に入学したという経緯でございます。これが私の中では人生の転機かなと思っております。

そして碧南高校の野球部に入りましたら部員が 13 人しかおらず、私の同級生を入れてやっと 20 人を超えるぐらいでした。当時は全く強くなく、大会では 1 回戦で負けるようなチームでした。しかし、3 年生の夏の大会で何故か運よく 5 回戦までいき、愛工大名電と対戦させて頂きました。私は勝てる訳がないと思っておりましたので、5 回で試合が終わると思っておりました。ところが 5 回が終わったら 4 対 2 で勝っておりました。チームの皆と勝ったら悪いよなと話をして心配しておりましたが、軽く引っ繰り返されて負けていましたけども、今でもその思い出として一生の宝物だと思っております。その当時の 2 年生にイチロー選手

がレフトを守っていて、私の打った打球がイチロー選手の頭を越えて打球を追って頂いたということがございました。

そんなこともありまして野球の楽しさを勝つことでも覚えまして、そして縁がありまして中京大学に入学させて頂きました。

その後、碧南高校野球部の監督を6年やらせて頂き、今でも高校野球の監督を続けたいですが、父親との約束で30歳になるまでは好きなことをしていいが、その後は会社に入るのだという約束の中で今こうして生活をさせて頂いております。

野球で経験したことは今の仕事に活かされている部分も非常に多いと思いますし、また今後も皆様方には教えて頂かなければならないこともたくさんあると思いますが、まだまだ若輩者ではございます。また今後とも皆様方にはご指導ご鞭撻を賜りますことを切にお願い致しますして私の卓話とさせていただきます。

ご静聴ありがとうございました。

次回例会案内

平成28年5月4日（水）は法定休日のため休会

平成28年5月11日（水）

卓話「信頼と好感を得るマナー・コミュニケーション」

(株)クレース・プランナーズ 代表取締役 正門律子氏